

盛岡市まちづくり市民討議会

『考えよう！みんなのタテモノの未来』

～共に考え・語ろう！公共施設のこれから～

市民提言書・実施報告書（概要版）

1. 開催目的

現在、市が抱える喫緊の課題である「公共施設の老朽化問題」について、18歳から80歳代までの幅広い市民の参加により英知を結集して、問題解決の方法を討議し、「市民提言」をまとめることを目的として市民討議会を開催しました。

2. 公共施設の老朽化問題とは？

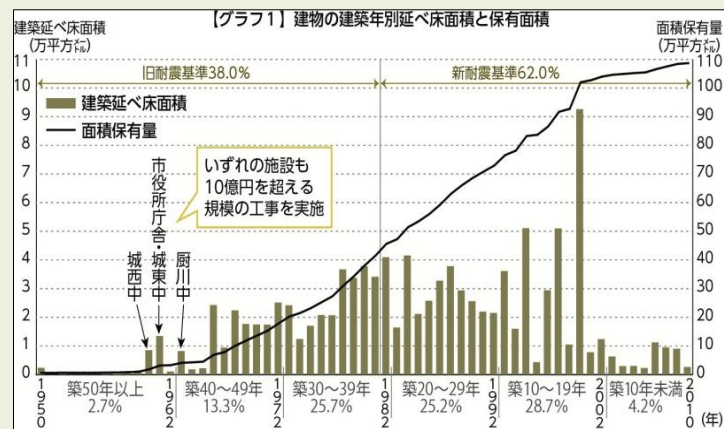
(1) 全国の状況

公共施設が集中的に作られた高度経済成長時代から50年、耐用年数を超えた施設が、大きな負担となって財政を圧迫している。放っておくとやがて崩壊して大きな事故にならないか。その一方で、すべてを補修しようとする巨額の費用が掛かって自治体の財政を押し潰してしまう。専門家は「現状の公共施設・インフラを、このまま将来も維持できるような財源はない。」と警鐘を鳴らしている。

(2) 盛岡市の状況

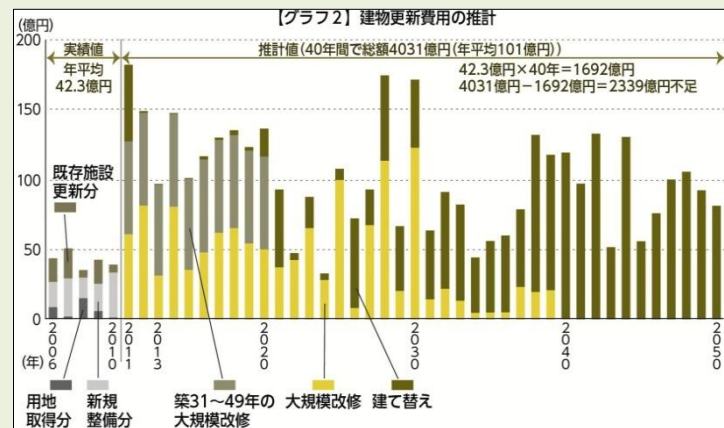
①公共施設の老朽化

- 659施設 1,553棟を保有。
- うち4割が築30年を経過。
- 城西・城東・厨川中学校、市役所庁舎では、いずれも10億円を超える工事を実施。



②更新費用の増大

- 今後、建替えや大規模改修などの更新に要する費用は、40年間で総額4031億円（年平均101億円）と試算。
- これまで支出してきた金額では大幅に不足し、全体の約4割しか更新できない。



③厳しい財政状況

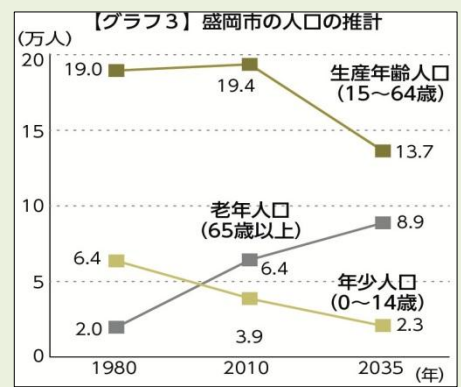
- 生活保護や児童・老人福祉などのための扶助費の増加が著しく、建設事業を増やしていくことは難しい。

④少子高齢・人口減少社会の到来

- 納税の中心である生産年齢人口（15～64歳）は、今後25年間で約3割減る。
- 税収の減少が予想される中、現役世代には、医療・介護・年金等の負担増も予想される。

⑤新たなニーズへの対応

- 一方で、公共施設には、これまでの役割を果たしながら、共稼ぎ世帯の増加・少子高齢化の進展・活動の多様化・耐震化・バリアフリー化などの新たなニーズに対応することが求められている。



3. 市民からの提言

※参加市民36名（2日目は32名）が、7班に分かれ班毎に3つの代表意見をまとめたあと、1人5票を持ち点とし、出された代表意見の中で同意する意見に投票し意見集約した結果です。

公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか？

1位 複合化・多目的利用を行う 25票

- 今後は複合施設として建設する
- 大型商業施設とコラボする（大型商業施設内に公共施設を入れる）
- 他の目的にも共通して使える施設配置とする
- 公営アパートは、増加する空き家を利用する

2位 市民の問題意識の向上が必要 18票

- 箱物を作ることを利用者も良く考えることが必要
- 問題を分かりやすく広報する
- 市側に要求するだけでは良くない

3位 統廃合が必要 16票

- 必要施設を選別しなければならぬ
- 施設の必要性の検討、分析をすべき
- 類似する施設は統廃合する
- 施設を不要・必要・新たに必要に分ける

- 4位 価値のある古いモノを生かす 14票
- 5位 長期展望・計画をつくる 11票
- 5位 生産年齢人口を増やす 11票
- 5位 人材育成が必要 11票
- 8位 老朽化対策の総合的機関を設置する 9票
- 9位 リサイクルを考慮した建設を行う 8票
- 9位 税外収入を確保する 8票
- 11位 税財源を見直す（工場誘致） 7票
- 12位 利用者の料金負担を行う 5票
- 12位 解体・修繕を行う 5票
- 14位 環境に配慮した住みやすい町 4票
- 14位 外部委託により施設維持費を削減する 4票
- 14位 新設は拡大展開しない 4票

地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか？

1位 統廃合と民間委託について、具体的に検討する 16票

- 不要なハコ物は思い切って解体する。土地は売却又は貸出する
- 児童・老人・地区活動センターを統合し地域住民の集いの場にする
- 統合することによって世代間交流が出来るのではないか
- 管理運営は民間活力を利用する

2位 施設の機能（サービス）は維持し、設備（ハコ）は簡素化・集約する 14票

- 地域で利用できる施設を1つに集約する
- 学校を統廃合しても良いのでは距離を考慮中心に配置する
- 老朽化したものは隣接地区と併合する
- デマンドバスの活用で施設のエリアを広める

3位 施設の区割りを見直し広域化を行う 13票

- 将来（地域人口政策等）を見通したまちづくりを行う
- 小・中学校の学区の見直しを行う
- 地域を再編する2、3地区を1つにする
- 広域化に対応し、情報・交通サービスを充実する

3位 既存・新築の統合複合 13票

- 学校の図書館・プール・体育館をみんなで使う
- 児童センターをなくし、小中学校の中に入れる
- 老人福祉施設も小中学校に入れる
- 市営住宅の1階に児童・老人施設をつくる

3位 民間との協力 13票

- ショッピングセンターと公民館を併設すると、利用率の確保につながる
- 新しく建てる際は、コンビニやレストランなどを入れる
- 体育館を民間のスポーツジムなどに運営を任せ、収入を得る

- 6位 利用目的・利用形態を考える（公民館） 12票
- 7位 利用率にとらわれない姿勢 10票
- 8位 交通手段の利便性を考える 9票
- 9位 小中学校を基本にして施設を見直す（学校を地域で利用） 7票
- 10位 重複しているハコモノを徹底的に調査する 5票
- 10位 地域住民・企業・行政などのニーズを把握する 5票
- 10位 市民や民間などの多数の意見を取り入れる 5票
- 10位 民間的視点に立った発想をする 5票
- 14位 20年後の人口と合わせ施設の縮小を早急に検討していく 4票
- 14位 住民主導の取り組み（企画の段階から市民参加） 4票
- 14位 見直しの基準の明確化（エリア人口や目標値） 4票
- 14位 "痛み"を伴う政策について、地域住民への十分な説明や理解を得ることが、事前に必要 4票
- 18位 新しい建物に集約する 3票
- 18位 運用方法の見直し（利用者負担、空き家の公的利用） 3票
- 20位 既存設備の整備を行う 2票
- 21位 人口・税収にみあった施設の運営・管理を行っていく 1票

全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか？

1位 施設機能の積極的な対外PRを行う 16票

- 利用してもらえようPRが必要
- オンライン化やIT化による情報周知を行うネット利用して積極的に全国展開する
- 施設へのアクセスを充実させる

2位 施設利用の広報活動をする 16票

- 各施設のPRが不足している
- 指定管理者の活動方針が良く分からない

3位 施設統廃合による不便は、デマンドバスの導入でサービスを落とさない(IT活用) 13票

- 施設を減らした経費で、バスを導入して運用することにより、利便性が向上する
- 庁舎、支所・出張所は、設置の意義が見出せないものもある
- 図書館は、学校や公共の蔵書をネットワークで検索活用する仕組みとしては

4位 施設運営の充実化 11票

- 図書館は、統合し専門書等を充実させる
- 体育施設は、ダンス教室やヨガ・フットネスなどの複合化を行う
- 博物館等の施設は展示内容の更新（他市との入れ替え）を行う

5位 重複施設を減らす 10票

- ホールは多い。集約しコストダウンし、上質なゾク（催し）を呼び子ども達に見せる
- 図書館はエリア内の小中学校と複合化する学校には図書館があり複合化可能
- 記念館・博物館は類似しているものを統合する
- 合併前の全市的に利用している施設を地域利用施設に組み込む

- 6位 支所・出張所の統廃合 9票
- 6位 施設目的・必要性の再検討（県・近隣地域との共同利用、市民意見を募る） 9票
- 6位 少子高齢化に対応し民間アイデアを取り込む 9票
- 9位 利用が増えるように宣伝する（観光PR、イベント、ゆるキャラ） 8票
- 10位 民営化・委託（行政サービスを民間委託・証明書発行はATMでIT化） 7票
- 11位 施設を利用しやすくする（立体駐車場・勉強する場所の提供） 6票
- 12位 統廃合（残す施設は残し統廃合できるものはする） 5票
- 13位 機能は失わず施設の統廃合を目指す（同一機能の集約「記念館・資料館・図書館」「プール・運動施設」） 4票
- 13位 公共施設利用の情報公開を行う（ホームページや広報紙で公開） 4票
- 15位 民間の利用（ノウハウ・経営・人材） 3票
- 15位 名称を聞いてもイメージできない施設が多くある（情報発信が必要） 3票
- 15位 施設の統廃合（分庁舎の統廃合、他の施設の統廃合） 3票
- 18位 利用稼働率を上げるために"間口"を広げる（駐車料金・アクセス・広報活動など） 2票
- 19位 なんでもかんでも統廃合していい！？ 2票
- 20位 施設利用の活性化（民間の利用（ノウハウ・サービスなど）） 1票